

地域の力で 子どもが変わる 大人も変わろう！

～ハッピースマイル体験～

出雲市川跡コミュニティセンター

1 川跡コミュニティセンターの概要

川跡地区は近年宅地化が進み、住宅やアパートなどの建設が目立つようになり急速に市街地化、都市化の様相を呈し大きく発展しつつある地域である。それとともに人口、世帯数も増加し年間出生児数は130人を超える。また30歳代の人口が約17%を占める若い子育て世代が多く居住する地域である。さまざまな交流活動を通して住民の意識の中に地域で子どもを見守り育む気運が高まりつつある。

2 事業の概要

(1) 事業のねらい

子どもたちを取り巻く生活環境の変化に伴い、わが子オンリー、個人主義に走る親世代も多く見受けられる。そこで子育て世代の若い父親が中心になり子ども達と一緒に自然体験や農業体験に汗を流し、参加者や地域の様々な世代の方々と協力、連携し交流を深めることで郷土愛を深め地域力を醸成することを目的とする。様々な体験活動を通し、たくましく生きる力、礼儀・感謝の心を育み親子でのふるまい向上につなげる。

(2) 具体的な取組

ア 夏休み尾原ダムキャンプ（雲南市木次町）・・・平成26年8月2日～3日

小学1年～6年の児童と保護者を対象に1泊2日の野外体験を実施。ホースセラピーでは馬の餌やりやブラッシング体験を通して動物をいたわる優しい心が芽生えた。放牧牛とのふれあい体験では自分たちの命は食べることで生かされている事、すべての生き物に感謝することの大切さを学んだ。尾原ダム見学では自然の偉大さや防災の重要性や助け合いの精神を学んだ。そうめん流し、バーベキュー、川遊び、花火や肝試しなど日常生活ではできないたくさんの遊びを大自然の中で体を使って体験した。このキャンプの参加保護者には募集段階からスタッフとして参加していただく旨を明示していたので常に積極的に活動していただいた。夜の子育て談義や膝を交えての情報交換は有意義な時間であり次へのステップへとつながった。



イ 農業体験と収穫祭（国際交流）・・・年間 平成26年12月13日

地域の方から畑を借りて親子で農作物を育て収穫した。採れた野菜を収穫祭として地域の方々と味わった。また外国の人との餅つき交流を通して日本文化の良さを再認識すると同時に国際感覚を養うことができた。



3 事業の成果と課題

(1) 成果

事業計画からキャンプ現地の下見や畑管理等、積極的に活動いただけた事で若年層の地域への関心が深まった。また様々な親子体験を通して今まで一参加者であった保護者がスタッフとして関わることで「達成感や充実感を味わえた、今後ぜひこういった活動に積極的に参加したい」との感想を多くいただいた。確実に地域貢献への意識が育ちつつある。

(2) 課題

今後も親子体験参加型の事業を推進し交流範囲を拡大し、仲間づくりを進め関係機関との連携を密に進めることで地域の活性化につなげたい。

4 今後の取組 地域住民自身が地域活動の主体となるまちづくりを進め、子どもから高齢者までみんなで笑顔を共有できるやさしい心を育てる活動を推進したい。